

## フロートのシャリシャリ

冬場のアイスの魅力はさきおき、何とかフロートに惹かれるのは、なぜだろう？ その上に浮かんでいるのはディッシュャーですくったアイスであって欲しいのはなぜだろう？...まあミカドコーヒーや根岸のデンみたいに、ソフトクリームに乗ったコーヒーフロートが残念ながら美味しいのも事実だわ。

大森ダイシン百貨店のお好みを食堂のナポリタンが旨いことを教えてくれたのは、ナンセンストリオの故前田隣さんだったけど、そのクリームソーダはソフトクリームで、笑っちゃうほど泡だらけな飲み物で、それはそれで楽しいアトラクションであった。

結局、何とかフロートに浮いたアイスの底のシャリシャリが命。溶けた水がアイスで再水化したのか、溶けたアイスが真下の水で凍ったのか、あの疑似シャーベットの如き食感に、ソーダないしコーヒーの味が微妙に染み中途中



半端な氷菓部分が、実はフロートがフロートとして成立する絶対条件なのである。

つまりアイスはサーバーかたによりによる出てくるソフトタインなアイスでディッシュャーですくわないと、シャリシャリは生まれません。ガシッとすくってボンと乗せ、飲み物をちよいと飲んで、アイスをはりと匙ふた匙食べた頃、絶妙なシャリシャリが、アイスの裏でそっと僕らを待っているという寸法。



# 高野金次郎商店

親切第一 平成28年11~12月号

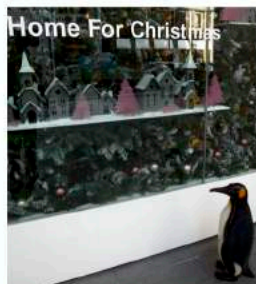
版元:東京ペンギン堂本舗・高野ひろし 豊島区北大塚2-26-2  
fax:03-3917-1949 RXM04421@nifty.com

協力:高島平電腦研究所、築地河岸工房  
関連ウェブ:各種検索エンジンで「東京ペンギン堂本舗」検索すると  
関連ウェブに辿り着けます。http://jpg.arrow.jp/

### 勝手にお気に入り5

- 今年の音楽映画ベスト5
  - \*ファンクの帝王ジェームス・ブラウン
  - \*ソング・オブ・ラホール
  - \*レッキング・クルー
  - \*アイ・ソー・ザ・ライト
  - \*ジャコ
- 時点には惜しい...エイト・デイズ・ア・ウィーク、フルーに生まれついて、シング・ストリート、イエスタデイ

## 銀の輔銀座千枚

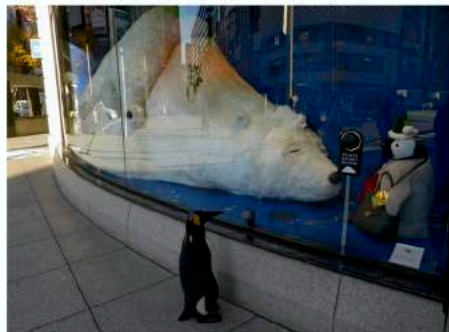


メルヘン。巨大な扉いっばいに、北欧あたりの田舎町が並んでいる。もしかしたら小さな誰かが住んでるんじゃないかと、時々くっく見入っちゃう。

うかうかしてたらクリスマスになっちゃったね。ついでこの間まで暑い暑いってヒーヒー言ってたのに、一年が終わっちゃう。もつともこの街を歩いてると、ショーウィンドの向こう側は数ヶ月も先の風景だから、季節を実感するのは難しいけど。

それにしても和光のシロクマ君は大人気。いつもは最先端アートな世界が広がる舞台が、いきなりほのぼの路線なのには驚いた。週末なんか子供たちが張り付いて離れないもの。そこに僕の仲間も参加して、南北大集合って感じ。

伊東屋のクリスマスは





# 旅人のパンは、旅人になって買わねばならぬ

旅人のパンは旅人になって買わねばならぬ。そもそも買ひ物は旅なのだ。

再開発工事らしい大塚駅を後にして、

地下鉄新大塚駅で春日通りと合体し、不忍通りを横切りさま「クロワッサンあるかな?」こゝ一家本社を横目に、大黒湯の坂を下ればお茶の水女子大。校内生協で買ったお茶大饅頭を食べながら、脇にそれればマールツァイトでミルク酵母のしつかりパンが買えるのに……と思いつつ坂を登り、小日向四丁目のサンドイッチのサンドイッチと小石川四丁目のオー・パドをスルーして、三重テラスの山村牛乳

年のよしみで、フジモリの揚ソーセイジパンを食う春日二丁目バス停前。

なので伝通院前の丸十ベーカーリーの元祖調理パン、富坂イエナのお洒落調理パンを諦め、文京区役所をやり過して真砂坂を登って、昭和二年に再建された弓町本郷教会の美姿に頭を垂れつつも、その先のエビキュリアンのサンドイッチも

いいよね、甘食が旨い明月堂は何故無くなったの? って本郷三丁目交差点を渡れば本郷中央教会の白き良き風情。

湯島天神から坂を下って天神下交差点

の右奥に目を凝らせば、麗しのぶどうパン・舞いづる。上野広小路交差点を右折で、やっと中央通りに突入し、パン屋不毛の秋葉原をサクサク過ぎて万世橋を渡り、アカシヤのピザトーストも肉の万世の万カツサンドもひとまず諦め、靖国通りを越えて神田エリア。庶民派ボン・クレールと高級千足屋総本店フルーツサンドをスルーして、三重テラスの山村牛乳

(小瓶)で喉を潤しながら渡る日本橋。しかし時は昼、レストラン東洋のミックスサンドもいけど、ここまで来たら薔薇窓でしょ。ミックスサンドのポテサラ&ハム合体方式を、隠れ家のような高島屋中二階で召しませ、召しますよ。エ

ネルギー補給も済んで再び中央通りの旅人に立ち戻り、八重洲から京橋。エドク

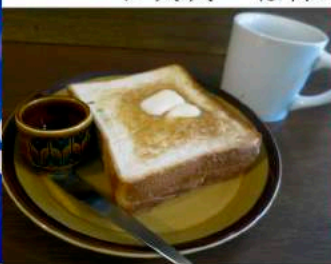
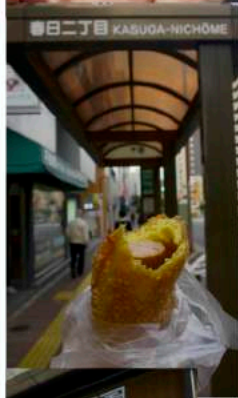
ランに寄る暇も無く銀座通りに入ると頬が緩む。でも沿道のパン屋はキムラヤのみ。こゝ島貞チヨココロネを買って、これはお土産。帰宅後のお楽しみさ。

新橋からは第一京浜の名の如く、大雑把な街並みが続き、パン屋なんか皆無で、大門交差点手前で孤軍奮闘するタイモン。金杉橋を渡って田町駅魅惑のエンゼル街に寄ってる暇もなく、徐々にへたつてきた足腰を励ましながら、何となく旅人な気分になってきたじゃないかと自画自賛しながら、札の辻歩道橋から我が東京タワーを手かきして眺める。

あと一息だけど、更に殺風景な品川駅までの辛いことは、もし日が暮れてたら泣いてしまうほど。本邦唯一のアンナミラズがある品川駅から、学生駅伝よりは個人的にゴジラ君押ししの八ツ山。京急踏切を越えたら、やっと旧東海道品川宿。問答河岸を降りても北品川橋は渡らず、船溜まりに沿って歩けば鯨塚。さあ長旅も終わり、いのパン店に到着。

ドライフルーツとナッツ一杯の重量感溢れる旅人のパンは、山登りのお供にも最適。でもにわか旅人は行き倒れ寸前だ。店の隅この可愛いイートインで、はちみつトーストの栄養補給で命を繋いで、大塚・北品川間約二十キロの旅は大

団円。帰りは歩かない!





高級句誌  
**俳人同様**  
 Haijin Doyo  
 三朝庵梅里・筆  
 SAN CHO AN BAI RI



そうかそうかやっぱりそうか、煎餅探すにや草加でしようか？ 飛び乗る都電で熊ノ前、舍人ラ イナー見沼代、親水公園駅降りて、小川流れる遊歩道、住宅街や橋越えて、喉乾いたら蜜相買 い、畑突切り見上げれば、鉄塔編み込む高圧線、休日無人の屋 下がり、ホントにあるのか煎餅屋、思えば過日頂いた、旨い煎

香ばしき匂いは奥の細道に 梅里



電線に雀は何羽止まれるか？



夜中には醤油の焦げる匂いする

餅手掛かりに、ボンヤリ歩く目の前に、看板あれど民家風、勇気を持って入りなほ、念願叶う煎餅が、につこり笑ってお出迎 え。照りの無いのが良き証視、ご主人手渡す久助は、甘味抑えて生地もよし、店を辞したらボ リポリと、嚙り向かうは草加駅、幹線道路に少しすつ、煎餅店の看板が、見え始めた駅近く、餅手掛かりに、ボンヤリ歩く目 水川神社は繪鎮守、曾良の銅像何見 てる、のんびりムードの旧街道、本陣 跡は夢の跡、何処もかしこも煎餅屋、巨大煎餅宙に浮く、突き抜け先には 綾瀬川、振り向きさまの芭蕉翁、奥の 細道迎る中、立ち寄りたるが草加宿、 翁も食べたか煎餅を、発祥の地の石 碑もあつて、松並木より食い意地が、 先に立ちたる情け無き、駅前少女が 煎餅を、焼く草加宿をは嚙り旅。

道すがら喉の渴きは自販機で...

草加煎餅の旅



買物は川ふたつ越え雲の先





# 宝重萬大塚南

ミナミオオツカヨロズ

チョウホク

## 編外番口北

東京大塚カウンター異聞  
K'sバーの人々

「萬劇場(てい)ですか?」店の前を掃除していると、よく尋ねられるスポットだ。「スミマセン…ケーズバー、どこ?」たどたどしい日本語に振り向くと、でかいリュックを背負った碧眼金髪&タトゥーの外人だった。

\*\*\*

大塚美容外科、一心病院、それに萬劇場が道を聞かれるベスト3。グンと離れた次点で文京高校。自慢じゃないが大塚の道案内なら任せとけ。昨日今日できた飲み屋と風俗店以外だったら、ほぼ頭に入ってる…はずなんだけど、ケーズバーって何処だよ?しかも外人じゃん。

「住所か地図、ありますか?」  
「無いです。でもお店に電話したら、都電の線路の前の、

ベンギン並べた変な店の前に聞けば分かるって…。変な店だけ余計じゃ!」「オーナーはミスターカネガフチ。はいはいはい、分かりましたよ。昨日のオジサンだ。だから伊勢元の話して、帰ったかと思ったら、食器棚のガラスを入れてくれて電話してきたんだ。鐘ヶ淵さんで言ってきたよ。今日の午後に行くことになってたんだ。取り敢えず彼に住所を教えてあげたけど、それにしても昨日知り合ったばかりの人間をインフォメーション係に使うって、どういう神経してるんだ…。それに店の名前を言わずに自分の苗字だけ教えるセンスもなあ。改めて住宅地図を確認してみたけど、狭い急坂の住宅街で、店があるような場所じゃない。もちろん鐘ヶ淵なんて東武電車の駅みたいな名前がない。もちろん鐘ヶ淵なんて家も出てない。確か松屋食品という船を作る工場が近くにあって、数年前に更地になっちゃったはず。折戸通

りにぶつかる角には魚賣って魚屋があったのは、僕が子供の頃の話だ。

そもそも僕が子供の頃、萬劇場のところにはお豆腐屋さんがあったんだ。阿久津さんという乾物屋もあって、煮豆や佃煮を売っていた。斜前のお肉屋さんには、よくコロツケを買いに行かされた。フライヤーの横の引き出しを開けるとパン粉が入っていて、不思議な机だなあっていつも思っていた。も少し手前には鶏肉屋さんもあった。普通の肉屋には牛肉と豚肉が置いてあり、何故か鶏肉だけは専門店て扱うことが多い、店頭のワゴンには玉子が並んでた。折戸通りは今では想像できないほどお店があったんだ。鶏肉屋さんの隣には靴屋さん、とうかサングラスや下駄を売る店があって、うちの親父はいつもこの店でサングラスを買っていた。もっとも親父はツツカケと呼んでいたけど、オジサンみたいなオバサンがやってくる薬屋さんもあったし、古本屋さんも二軒くらいあったように思う。

古老に聞くと、そもそも巢鴨警察もこの通り沿いにあり、後になって山手線の線路沿いに引越したそうだ。地蔵通りが近い辺りには、映画館もあったという。パン屋、本屋、文房具屋、お菓子屋、商店街と言っても大袈裟じゃないくらい、お店が並んでいて、すぐ脇には八百屋さん。ちょっと前に閉店したグッピーというコインランドリーは、文字通り熱帯魚屋だった。今はワタヤという名前のお茶店が、本当に布団屋さんだった。

うちの店の並び角、今は大きなコインパーキングになってるところには、ヨネクラシムというボクシングジムがあった。僕が子供の頃には柴田国明というチャンピオンがいたんだ。バックミラーにボクシンググローブ型のキーホルダーが下がった白いフォルクスワーゲンが停まると、ああ柴田が来てるって、近所のおじさん連中が見に来てたっけな。建物の植え込みには数珠玉が沢山植わってて、銀玉鉄砲に詰めて飛ばして遊んでた。その向かいで、鳥吉って旨い焼き鳥屋があるマンションは、花の湯って銭湯だった…。無節操に思い出が湧き出す折戸通りなのだ。

\*\*\*

「鐘ヶ淵さんですか?ベンギン堂です。これから伺っていますか?」「ごんにちわですよ、」あの、午前中に外人さんを道案内したんですけど、「はいはい、ありがとございます、来ましたよ。」もう変な店とか言ったのを、すっかり忘れてるみたいだ。でしたか?来年は何と四年、銀の輪の年です。もって色んな街の輪とを歩きます。よいお年を!★配布協力感謝・千駄木・古書ほろろ、吉祥寺・ブックスルーエ、雑司ヶ谷・旅猫雑貨店、法善寺横丁・洋酒の店路、築地・ふげん社。淺草・珈琲アロマ。

### 編集後記のようなもの

公私共に忙しくて、相変わらずの合併号のまま、今年最後の高金商売を迎えてしまいました。しかも食べ物ばかり。どれだけ食い意地が張ってるんですかねえ。皆さんの平成二十八年はいかが